2019 年度実施概要

学校名

広島市立中野東小学校

採択活動名

海と川のつながり（海と川の様子や生き物を比べてみよう）

取り組みの概要

中野東小学校区は２級河川瀬野川を挟んだ東西斜面にあり，川を活用した体験活動や教材開発に取り組んできている。川に親しみ愛着を持つ児童が増えているものの，瀬野川が広島湾（瀬戸内海）につながっていることをなかなか意識できていないことから，昨年度から海洋教育のプログラムに取り組んできている。本年度は，実際に海に触れ生息する生き物を探索する海の生き物観察会などでしっかりと海に触れ，海と川とのつながりに目を向け，児童が主体性をもって海の恩恵や海に関する環境保全の大切さを実感しながら深める機会とした。

瀬野川が流れ込んでいる広島湾（江田島）での体験活動を実施することにより，海と川とのつながりを意識した探究的な学習内容を構成し，川の学習と比較したり関連づけたりする取組を図る。海の恩恵や海に関する環境保全の大切さを主体的に学習ができるよう海洋教育に多面的な焦点を当て，次のように課題解決と実践の構想を具体化した。

〇臨海宿泊学習を実施し，実際に海を訪ね，しっかりと海に触れる体験を多く設ける。
- 夜間に実施するウミホタル観察会，専門家によるウミホタル学習会
- 干潟に住む生き物観察会，専門家による観察方法のレクチャー（干潟にて）
- 集団での海上漕艇の体験活動（海上からの広島湾の観察）

〇海の生き物と川の生き物との比較
- 共通しているところと異なるところの発見
- 海の生き物の特徴，生態（専門家からの講義より）
- 海には川と同様に多様な生き物が存在し，それぞれの環境に適応した暮らし方や合理的な体のつくりをしていることを理解

〇海洋に関連する産業の体験
- 広島湾でのカキの養殖や沿岸漁業の様子（海上漕艇やフェリーからの海上からの広島湾の観察）
- 水産業（海に関わる地域の歴史や産業）

〇環境教育
- 自分たちの生活や課題になっている環境問題について考える。（海洋汚染など）
- 川の水が海に及ぼす影響（海と川のつながり）
- 海は川とつながり，大きな影響を及ぼし合っていることを理解
- 自分たちの暮らしも海と密接に関係していることを知り，環境保全の意識を高める。

○情報発信

・児童の自律的な学びを支援しながら，自分たちにできること，大切にしたいことを発信する。

・中野東地区の川は昔も今も地域の発展や生活の中心にあるが，その川が海（広島湾）につながっており，大きな影響を及ぼしていることを振り返る。

○防災教育

・豪雨災害の被害の様子

・防災に向けての取組

○SDGｓ

・海を切り口に楽しく学ぶ出張授業を開催

・これから解決しなくてはいけない問題を考える。自分たちが考えた問題を国際連合が定めた１７の目標別に分けながら，ワークショップを通じて問題を解決するための必要な力について考える。

・ポ海と川のつながりについてテーマを決めスターセッションを行い，保護者の方々の参加も図る。

○情操教育

・様々な体験を通して実感し，海に親しみ愛着を持つ。

○地域教育

・西大井出について現地調査を行う。

・水生生物の採取観察，川辺や干潟の様子について調査。

活動中の写真

瀬野川での現地調査

瀬戸内海（干潟）での現地調査

ポスターセッション（啓発活動）

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 海と川のつながり（海と川の様子や生き物を比べてみよう）